

我慢

教育相談専門員 沼波かおり

小さい頃、泣き虫で偏食だった私は、厳しい母から「お前は我慢が足りない」と言われ続けていた。小学1年生の冬、給食時間に何かで急いで廊下を走っていたとき、他のクラスの子が持っていたお茶のやかんにぶつかり、右のふとももに熱湯がかかったことがあった。



日頃「廊下は走るな!」と担任の先生から言われていたので、叱られると思い、給食の時間も、その後の帰りの会も、しだいにひりひり痛みが増すなか、歯をくいしばって我慢した。帰宅して恐る恐る母に打ち明けると、母は私のはいていたタイツをすばやく引き下ろし、顔色を変えた。見事にふとももの皮がベロンと剥けてしまったのだ。そして「そんなに我慢せずにどうして先生に言わなかったの!」と、また叱られた。あんなに一生懸命我慢したのに……。

もちろんその後数か月間、母は病院に付き添ってくれたし、いつもよりは少しやさしい母になった気もした。今も残るケロイドの痕を見るたびに、昨日のここのように思い出す。

自分も母親になり、あの日の自分を我が子に置き換えたとき、母の叱責や当惑も痛いほど理解できるようになった。そして何より、我慢強い母に厳しく育てられたおかげで、少しは我慢強い性格になれたと思う。その後、教師になってからも、痛みにふるえて我慢する生徒に気づける視野を持ちたいと、今日まで強く意識してきたつもりだ。

これまで「相談室」で出会った生徒たちの中にも、「本当によく我慢したね、もうそんなに頑張らなくてもいいよ」と思わず声をかけたくなるケースがいくつもあった。我慢して頑張るしかなかった事情はそれぞれだ。あの日、肩に力を入れ震えながら我慢した痛みを忘れず、今日の前にいる生徒と、何とか少しでも楽に過ごせる手だてを、ともに考えたいと思う。

☆ カウンセラーの先生方が来校されます ☆

本校には次のカウンセラーの先生方が毎月来校されます。「辛いけれど、どうしていいかわからない」という人、「よく眠れない」「食欲がない」「体調が良くない」などの症状がある人は、ぜひ先生方に相談してみてください。秘密は守られますので安心してください。

《カウンセラーの先生と11月の相談日》

● 沼波 かおり先生 (本校教育相談専門員)

毎週火曜日、木曜日 午後1時～6時

● 堀 智哉先生 (各務原病院 臨床心理士)

毎週月曜日、金曜日 午後7時～9時

● 鷲見 栄子先生 (社会福祉士)

11月1日(水)、15日(水)、22日(水) 午後4時～6時

☆生徒のみなさんへ…面談は予約制です。HR担任、教育相談係(教育相談室:本館3階)、養護教諭(保健室:本館1階)の先生のいずれかに申し込んでください。

★保護者の方へ…カウンセラーの先生との面談は、保護者の方のみでも受け付けます。お申し込みは、定時制教育相談係(長瀬・服部・松原)までお願いします。

電話番号は(058)275-7185です。どうぞお気軽に申し込んでください。

★本校の特別支援教育コーディネーターは、服部と松原です。何かございましたら、遠慮なくご相談ください。